

項目	観点	教科書名							
		新しい社会 歴史(2・東書)	中学社会 歴史 未来をひらく(17・教出)	新中学校 歴史 日本の歴史と世界(35・清水)	社会科 中学生の歴史(46・帝国)	中学社会 歴史的分野(116・日文)	新しい歴史教科書(225・自由社)	新しい日本の歴史(227・育鵬社)	ともに学ぶ人間の歴史(229・学び舎)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させるために、どのように配慮されているか。	・単元のまとめと次単元を見開きとし、年表をつなげることで、歴史の流れが一目でわかるように配慮されている。	・単元のまとめで、年表を大きく掲載し、歴史の流れが確認できるように配慮されている。	・単元のまとめで、年表に主な出来事を記入することで、歴史の流れが確認できるように配慮されている。	・単元ごとに、その時代の様子を紹介するイラスト「タイムトラベル」と小学校で学んだ出来事を掲載することで、歴史の流れが確認できるように配慮されている。	・単元ごとに、地図上で世界の動きと年表を掲載し、各左ページには、世紀と時代区分を表示し、歴史の流れが確認できるように配慮されている。	・単元末の「歴史豆辞典」には、年代順に重要用語の解説を掲載し、歴史の流れが理解できるように配慮されている。	・単元はじめに、時代区分を表す「歴史モノサシ」と主な出来事や人物をイラストで表す「歴史絵巻」を掲載することで、歴史の流れが理解できるように配慮されている。	・単元はじめに、世界地図とともに、その時代を代表する資料を掲載することで、歴史の流れが理解できるように配慮されている。
	○国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させるために、どのように配慮されているか。	・巻頭と巻末で地図と併せて文化遺産を、年表に歴史上の人物をイラストで掲載し、時代や地域との関連が理解できるように配慮されている。	・歴史上の人物を小学校と中学校どちらで学習したのかを区別し、地図上で文化遺産を確認できるようにして、時代や地域との関連が理解できるように配慮されている。	・歴史上の人物をコラムとして取り出して詳しく解説し、文化遺産を世界遺産や国宝の表記をして、時代や地域との関連が理解できるように配慮されている。	・歴史上の人物と、地域の歴史を詳しく紹介したコラムを掲載し、時代や地域との関連が理解できるように配慮されている。	・大単元ごとに、先人の姿と地域歴史の調べ方を紹介し、時代や地域との関連が理解できるように配慮されている。	・コラム「人物クローズアップ」で歴史上の人物を詳しく紹介し、単元の扉で時代を代表する文化遺産を掲載することで、時代や地域との関連が理解できるように配慮されている。	・コラム「人物クローズアップ」で歴史上の人物を詳しく紹介し、巻末で世界と日本の文化遺産を地図と併せて掲載し、時代や地域との関連が理解できるように配慮されている。	・巻末の年表中に歴史上の人物、歴史地図中に文化遺産を掲載することで、時代や地域との関連を理解できるように配慮されている。
	○歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを理解させるために、どのように配慮されているか。	・日本と東アジアを比較できるように、焼き物や貨幣の写真を掲載し、発展課題として朝貢体制を扱い、東アジアとの交流について理解が深まるよう配慮されている。	・モンゴル帝国がもたらした文化として、木簡や仏教の教典などの資料を掲載し、東アジアとの交流について理解が深まるよう配慮されている。	・モンゴル帝国の拡大やマルコ＝ポーロの経路を地図で表し、東アジアとヨーロッパの交流について理解が深まるよう配慮されている。	・国際都市として発達した博多を取り上げ、様々な出土品や食文化などから、東アジアとの交流について理解が深まるよう配慮されている。	・地図と年表を大きく掲載し、モンゴル帝国がもたらしたアジアとヨーロッパの間での文化交流について理解が深まるよう配慮されている。	・コラム「もっと知りたい」で元寇について詳しく記述し、東アジアとの交流について理解が深まるよう配慮されている。	・十字軍とモンゴル帝国の動きから、日本が受けた影響を地図や年表を使って理解が深まるよう配慮されている。	・世界を結ぶ交通手段によりもたらされた、羅針盤、火薬、磁器などの資料を多く掲載し、東アジアとの交流について理解が深まるよう配慮されている。
	○身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てるために、どのように配慮されているか。	・「私たち歴史探検隊」を通して、テーマ設定、探索方法、まとめ方などを紹介し、身近な地域の歴史について考えられるよう配慮されている。	・特設ページ「郷土の歴史を探ろう」「地域から歴史を探ろう」を設定し、地域調査の仕方やまとめ方を紹介し、身近な地域の歴史について考えられるよう配慮されている。	・特集ページ「歴史のとびら」でフィールドワークを取り上げ、課題を見つけ、調べてまとめていく方法を紹介し、身近な地域の歴史について考えられるよう配慮されている。	・「身近な地域にひそむ歴史を探ろう」で具体例を挙げて、情報の集め方、聞き取り調査の仕方、レポートのまとめ方、発表の仕方を紹介し、身近な地域の歴史について考えられるよう配慮されている。	・「でかけよう！地域調べ」で博物館の見学の仕方や、歴史新聞作りのポイントを紹介し、身近な地域の歴史について考えられるよう配慮されている。	・序章「〇〇の歴史」の項目では、渋谷区の歴史を例に挙げて、調査の手順や方法を紹介します。身近な地域の歴史について考えられるよう配慮されている。	・序章「地域調査に出かけよう！」や、単元ごとの「課題学習」で、調査に出かける前の準備からまとめ方まで地図や写真を活用して考えられるよう配慮されている。	・「歴史への案内」で地域の博物館での調査方法や、地域の歴史を体験する方法を紹介し、身近な地域の歴史について考えられるよう配慮されている。
2 内容の程度及び取扱いについて	＜基礎・基本の定着のための工夫＞ ○我が国の歴史の大きな流れを理解できるようにするために、どのような工夫が見られるか。	・章の導入・・・小学校での既習事項を提示し小学校での学習の上に時代を概観し、中学校の学習内容を系統的に積み上げている。 ・章末・・・小学校での既習事項に、中学校で学習した内容を加えた年表で系統的にまとめている。	・章の導入・・・時代を象徴する資料を通して吹き出しで単元の概観と学習の指針を提示している。 ・章末・・・時代の移り変わりを大観できる構造図を使い、時代の変化に着目している。	・章の導入・・・小学校での既習事項に関する資料を示し、章を通しての課題を提示し見通しをもった学習を促している。 ・章末・・・年表でのまとめ、重要語句を用いて文章にまとめている。	・章末・・・文化を学習した後で、時代を振り返るコーナーを設けている。 ・章末・・・様々な資料と関連付けて時代の特色を簡潔にまとめられるよう配慮されている。	・章の導入・・・世界の歴史を示し、広い視野から我が国の歴史を捉えられるよう工夫が見られる。 ・章末・・・「政治」「経済」「文化」「外国とのつながり」という項目ごとにまとめられている。	・章の導入・・・時代を象徴する資料を提示し、時代の特色を捉える手がかりとなる設問を設定している。 ・章末・・・文章や意見交換会による比較や、用語の解説をしている。	・章の導入・・・「歴史絵巻」で時代の流れを捉えられるようにしている。また、資料の吹き出しで内容を読みとる視点を明確にしている。 ・章末・・・年表の作成、場所の確認、重要語句を用いて文章にまとめられるよう配慮されている。	・章の導入・・・我が国の歴史の流れを世界の歴史を背景に捉えられるようにしている。 ・章末・・・時代の変化についてまとめられるよう配慮されている。
	＜関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫＞ ○主体的な学習を進める上で、調べ方や学び方の取扱いには、どのような工夫が見られるか。	・吹き出しを用いて、調べ方や学び方などの方法が確認でき、技能が身に付けられるよう配慮されている。	・キャラクターを用いて資料の読み取りや、考察を促すようにし、学習の流れに即して調べ学習ができるような工夫が見られる。 ・「ふりかえる」では、主体的に調べ学習ができるよう配慮されている。	・「歴史のとびら」という学習する上で知っておきたいことがら(神話・仮名文字)や調べ学習の方法(ブレインストーミング・絵画のみかた)等があり、主体的に調べ学習ができるよう工夫されている。	・歴史の基礎的な技能を身に付ける「技能をみがく」が掲載されている。 ・「タイムトラベル」という各時代ごとの人々の生活に視点をおいた資料により、自分たちの生活を比較し、学習課題を設定しやすくなっている。	・「人物」「出来事」「文化遺産」等における調べ学習のポイントがまとめられている。 ・授業のあとに、自分で授業内容の復習ができるよう「確認」「活用」が掲載されている。	・「テーマ学習」「人物を通して時代をとらえる」等、興味や関心を高める活動が掲載されている。 ・複数の方法で調べ学習が進められるように工夫されている。	・人物や歴史的事象等の資料を活用して調べる学習が掲載されていて、進んで調べ学習に取り組めるような工夫が見られる。	・章末に時代の変化についてまとめるコーナーが掲載されている。 ・各章の冒頭に、特色のある教材を設定して、関心をもって調べ学習が進められるように工夫されている。
	○学習した内容を活用してその時代を大観し表現する活動や、各時代における変革の特色を考えて時代の転換の様子をとらえる学習などを通じて、歴史的事象について考察・判断しその成果を自分の言葉で表現する学習について、どのような工夫が見られるか。	・毎時間ごとの「確認」と単元末の「学習の確認」で自分の言葉でまとめられるようにしてあり、主体的な学習活動を促している。 ・年表や「時代スケール」を入れて、時代感覚を養えるように工夫されている。	・章末ごとに、時代の変化や特色に着目し、自分の言葉で説明するなどの設定がされている。 ・自分の言葉でまとめられるように、図や写真等ヒントになるような資料が掲載されている	・毎時間ごとに「まとめてみよう」が掲載され、自分の言葉で表現できるように工夫されている。 ・各時代の特色を自分の言葉でまとめるための方法として「Yチャート」を提示し、主体的な学習活動を促している。	・毎時間ごとに、自分で授業内容をまとめられるよう「確認しよう」「説明しよう」が掲載されていて、主体的な学習活動を促している。 ・章末には、学習してきた内容を整理することで習得し、各時代の特色を説明する活動を設けている。	・「とらえよう時代の転換」により、自分の言葉で表現し伝える活動を提示している。 ・章末では、テーマを設定し表や文章にまとめる言語活動を設けていて、主体的な学習活動を促している。	・授業のあとに、自分で授業内容の復習ができるよう「まとめにチャレンジ」が掲載されていて、主体的な学習活動を促している。 ・章末には意見交換会を設定されたり、人物比較や時代比較を課題として提示したり、言語活動の充実を図っている。	・意見交換会を設け、表現力向上を図ったり、グラフや絵を活用した考察をしたりする言語活動が設定されている。 ・各時代の歴史の流れが見える「歴史絵巻」を設け、自分の言葉で表現するなど主体的な学習活動を促している。	・章末ではテーマに沿って自分の考えを言葉で表現するなどの言語活動が設定されている。 ・各地域の生活や世界のつながりを視覚的にとらえられる構成となっている。
	＜個に応じた指導のための工夫＞ ○生徒自らが課題を設定し、多様な調べ方や学び方で学習活動を展開できるようにするために、どのような工夫が見られるか。	・「深めよう」では本文の学習を掘り下げられるような題材を取り上げ、興味をもって発展的な学習ができるよう配慮されている。	・歴史を掘り下げていくテーマ(人物・地域・世界)を設定し、個に応じた発展的な学習ができるような工夫が見られる。	・「もっと知りたい歴史」では、発展的な資料を提示し、生徒の興味関心が高まるような配慮がされている。	・「歴史を探ろう」では、様々な情報から個に応じた発展的な学習ができるように配慮されている。	・「歴史を掘り下げる」では、個に応じた読み物教材として設定され、様々な調査活動ができるよう配慮されている。	・特設ページで、学習内容を掘り下げられるような読み物資料で個に応じた学習ができるような工夫が見られる。	・「歴史の名場面」「このころの世界は」「なでしこ日本史」を掲載し、生徒の興味を高めるような多様なテーマで課題学習が設定されている。	・「歴史を体験する」では歴史の理解が深まるような作業的・体験的な活動を加えた教材を取り上げ、個に応じた学習ができるよう配慮されている。

		<歴史的事象の記載> ○近現代における歴史的事象の記載については、どのような特色が見られるか。 ※領土については、地理的分野（地図も含む）、公民的分野にも記載	・「明治時代の外交」の年表中に記載されている。 ・特設のページ「歴史にアクセス」において、写真や複数資料を掲載し記述されている。	・「日本の外交と領土の歩み」として、地図と年表が掲載されており、側注に記述されている。 ・特設ページ「現在に残された課題」において、課題について記述されている。	・「明治時代の日本と領土の確定」として、地図が示されており、側注に記述されている。	・「明治初期の日本の国境と外交」として、地図と年表が掲載されている。側注に国境の経緯が記述されている。 ・特設ページ「現代史＋α」において現在の課題として歴史的経緯が記述されている。	・本文の「領土の画定」に、側注として歴史的経緯が記述されている。 ・特設ページ「現代史＋α」において現在の課題として歴史的経緯が記述されている。	・本文の「21世紀の日本の進路」に、側注として歴史的経緯が記述されている。地図には尖閣諸島は記載されているが、竹島は記載されていない。	・「近隣諸国との国境画定」として地図に記載されている。 ・「歴史ビュー」で我が国固有の領土である国境の島々として、領土の画定の歴史的経緯等が記述されている。	・側注に領土問題について記述されている。 ・慰安婦問題について河野洋平談話を掲載している。
3 構成・配列・分量		○教材の構成や分量については、どのような特色があるか。	・最初の単元で、歴史のとらえ方に関する内容に多くのページを充てて、小学校からの歴史学習を想起しながら、歴史の流れをとらえられるような特色がある。	・近代に関する内容に多くのページを充てて、幕末からの日本の変革を調べ易くするような特色がある。	・近世に関する内容に多くのページを充てて、文化や人々のくらしをとらえられるような特色がある。	・特設ページ「トライアル歴史」や「歴史を探ろう」で、学習したことを具体例を通してさらに深められるような特色がある。	・地域の歴史調べや先人の姿を単元ごとに紹介し、自ら学びを進められるような特色がある。	・古代に関する内容に多くのページを充てて、古代国家の成り立ちを様々な視点からとらえられるような特色がある。	・特設ページ「人物クローズアップ」や「なでしこ日本史」で、歴史上の人物に多くの頁を充てて、女性の活躍を詳しく紹介し、学習が深められるような特色がある。	・近代に関する内容に多くのページを充てて、世界と日本の関わりをとらえられるような特色がある。
		○本文、資料、学習問題、注釈等の配列や相互の関連については、どのような特色があるか。	・学習の見通しがもてるように学習課題を明確に掲載し、言語活動を意識した学習のまとめができるような特色がある。	・資料をどのように読み取ればよいのかを支援する手がかりを示し、まとめでは、確認と表現の2ステップで学習を振り返るような特色がある。	・学習課題を解決するための資料を読み取るヒントが示され、言語活動を生かしたまとめにつながるような工夫に特色がある。	・見開きイラスト「タイムトラベル」により、興味関心を高め、学習課題につなげ、まとめでは、確認と説明の2つの方法でできるような特色がある。	・学習課題とともにポイントとなる語句を示し、「言語活動コーナー」により思考・判断・表現の活動を進めやすくなるような特色がある。	・学習課題に迫る資料を詳しい解説や側注とともに掲載し、言語活動を意識したまとめにつながるような特色がある。	・学習課題に関連した資料を大きく掲載し、「歴史ビュー」で詳しい解説を加えて表現活動を意識したまとめにつながるような特色がある。	・各時代ごとに単元を貫く学習課題を設定し、単元のまとめでは、図表や新聞など様々な表現活動を促す特色が見られる。
4 表記・表現		○用語や記号等の表記や表現については、どのような工夫が見られるか。	・3分野関連の記号を取り入れ、他分野との関わりを示している。 ・本文の下にページ数が記入されており、関連事項の確認ができる。 ・世界遺産、国宝、重要文化財の表記が資料に示されている。	・小学校で既習した人物と中学校で学習する人物を、表記でわかるようにしている。 ・本文の下にページ数が赤で記入されており、関連事項の確認ができる。	・世界遺産、国宝の表記が資料に示されている。 ・本文の下にページ数が赤で記入されており、関連事項の確認ができる。	・世界遺産、国宝の表記が資料に示されている。 ・欄外に難解語句の補足説明を加えている。	・統計資料への問いにより、資料活用の視点を示している。 ・欄外にキーワードや難解語句の補足説明を加えている。	・国宝、重要文化財の表記が資料に示されている。 ・本文の下にページ数が青で記入されており、関連事項の確認ができる。	・世界遺産、国宝の表記が資料に示されている。 ・本文の下にページ数が赤で記入されており、関連事項の確認ができる。 ・欄外に難解語句の補足説明を加えている。	・欄外にキーワードや難解語句の補足説明を加えている。
		○本文や年表、図表、絵図、写真、統計資料等の表現については、どのような工夫が見られるか。	・巻末の年表には、日本と外国の関連性を示したり、歴史の流れが理解できるポイントが記載されたりしている。	・巻末の年表は、100年ごとに区切りがあり、時代の流れが理解できるようポイントが青字で示されている。 ・各ページとも統一された資料掲載の枠を設け、生徒の関心を高めている。	・巻末の年表には、100年ごとに区切りがあり、時代の流れを理解できるようポイントが青字で示されている。 ・各ページとも統一された資料掲載の枠を設け、生徒の関心を高めている。	・巻末の年表には、日本と海外の交流をイラスト等を用いて示し、外国との関係の定着を図る工夫をしている。 ・吹き出しを活用した、資料への問いや資料活用の記号を入れた視点を示し、考察を促している。	・巻末の年表には、日本と海外の交流を貿易や戦いなどに分類しイラスト等を用いて示し、外国との関係の定着を図る工夫をしている。 ・吹き出しを活用した、統計資料等への問いによって資料活用の視点を示している。	・巻末の年表は、本文のページと同じ大きさで挿入されている。また、国の形成過程が示されてる。 ・人物の写真資料に解説やその人物の見解を併記することで考察を促す工夫がされている。 ・本文と関連したコラム等の資料や欄外に補足説明を加えている。	・巻末の年表では、外国との関係を矢印で示し、学習内容の定着を図る工夫をしている。 ・吹き出しを活用した、統計資料等への問いによって資料活用の視点を示している。	・巻末の年表は、本文のページと同じ大きさで挿入されている。見開きで日本の社会・経済、日本の文化、世界の動きを表し、人物の写真や文化をまとめた表などを記載し見やすく分かり易い。
5 体裁・使用上の便宜		○表紙や紙質等の体裁、目次や索引等、使用上の便宜については、どのように配慮されているか。	・AB版 ・目次の前に国宝、重要文化財、世界遺産の写真を提示し、生徒の意欲を高めている。 ・目次では「歴史スキルアップ」「歴史にアクセス」を別枠で記載し、生徒が探しやすいよう配慮している。	・AB版 ・目次の前に「歴史のなかの言葉」を記載し、時代や人物への興味、関心を高めている。 ・目次は見開き2ページでわかりやすくまとめ、次の2ページで教科書の使い方と学習コラムを記載し、生徒が理解しやすい構成になっている。	・B5版 ・目次の前に、キャッチコピーづくりの活動を設け、小学校の学習を生かしながうになっている。 ・巻末の索引には、全ての言葉にルビがつけられていて、生徒が探すやすいよう配慮されている。	・AB版 ・表表紙と裏表紙に年表を掲載することで、歴史の流れを捉えさせる工夫が見られる。 ・人物索引では記号を使い、その人物がどのような功績をもつ人物なのかを示している。また、すべての人物にルビをつけている。	・AB版 ・目次の次のページには、教科書の使い方と構成が紹介されており、目次を見ることがにより使い方を確認できるようにしている。 ・人物索引にはすべての人物にルビをつけている。	・B5版 ・目次は3ページで、目次の最後に構成と特徴の説明が配置されており、生徒に分かりやすい工夫がされている。 ・各章末に、100字用語解説が掲載され、生徒が復習しやすくなっている。	・AB版 ・目次の前に日本の美の形が記載され、文化に対する生徒の興味関心を高めている。 ・目次は3ページで「歴史ビュー」「人物クローズアップ」が別枠で記載されており、生徒が探しやすいよう配慮されている。	・A4版 ・表表紙には、歴史学習に関連する内容が記された世界地図、裏表紙には同様の内容の日本地図が掲載されている。 ・目次は見開き2ページ。